

小学校道徳科教科書における情報に関する教材の取り扱い

平 田 繁

Handling of Materials Related to Information in Elementary School Ethics Textbooks

Shigeru Hirata

(2022年12月12日受理)

はじめに

インターネットやスマートフォンが急速に普及し、多くの人がメールやSNSによる情報発信・収集、動画視聴、電子決済等を日常的に利用している。総務省(2022)によれば、インターネット利用率は、13歳～59歳の各階層で9割を超えているという。¹⁾ 青少年では、97.7%がインターネットを利用し、学校種別でみると高校生99.2%、中学生98.2%、小学生(10歳以上)96.0%であるという。²⁾ ところがインターネットを利用している個人のうち、インターネットを利用して「不安を感じる」又は「どちらかといえば不安を感じる」と回答した者の割合は合わせて71.9%であるという。感じている不安の内容は、「個人情報やインターネット利用履歴の漏えい」90.1%、「コンピュータウイルスへの感染」62.7%、「架空請求やインターネットを利用した詐欺」54.1%という。³⁾

このような中、我が国では、少子高齢化とそれに伴う労働力不足の解消、社会・経済等の様々な分野での発展を目指し、更にICT利活用を進めようとしている。教育分野でのGIGAスクール構想もその一つである。このようにインターネットの利活用は、科学技術の進歩と共に広がり、深まりを見せ、利便性が高い日常を作っていくことになるであろう。

しかし、インターネットに関わる問題も山積している。例えば、違法・有害・偽情報の配信・存在、SNSや動画配信サービス等の普及により他人を誹謗中傷する表現や知的財産権の侵害等である。警察庁(2021)によれば、「SNSに起因する事犯の被害児童数は、令和3年も高い水準で推移するなど、サイバー空間を通じて他人と知り合うことなどを契機として犯罪被害に遭う事例もみられる」⁴⁾ という。プロバイダ責任制限法の改正、ファクトチェック等、民間での取り組みも推進されているが、

利用者のICTリテラシー向上、特に学校教育で情報を正しく安全に利用できるための情報活用能力の実践が期待されている。

1. 情報モラルの位置付けと研究動向

学習指導要領に情報モラルの記述があるのは、学習指導要領第1章総則と学習指導要領第3章特別の教科道徳である。総則は、第2の2「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」に「情報活用能力(情報モラルを含む。)の資質・能力の育成を各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図る。」とある。^{注1)} 道徳科では、第3の2の(6)で「児童の発達の段階や特性等を考慮し、第2に示す内容との関連を踏まえつつ、情報モラルに関する指導を充実すること。」とある。^{注2)} 更に、道徳科第3の3の(1)には、「情報化への対応を題材とした教材の開発や活用」の留意事項がある。^{注3)} これらのことから、各教科等の特質を生かしながらも、教科等横断的な視点から教育課程を編成し、中でも教育活動全体で行う道徳教育の要である道徳科での情報化へ対応した指導、内容は重要である。

指導内容については、小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編に「特に、情報社会の倫理、法の理解と遵守といった内容を中心に扱う」とあり、具体的には、親切や思いやり、礼儀、規則の尊重が挙げられている。⁵⁾ 「教育の情報化に関する手引」では、情報モラルの指導で「日常モラルを育てる」、「仕組みを理解させる」、「日常モラルと仕組みを組み合わせて考えさせる」とある。日常モラルでは、「節度、思慮、思いやり、礼儀、正義、規範」、情報技術の仕組みでは、「インターネットの特性」、「心理的・身体的特性」、「機器やサービスの特性」を必要要素としている。⁶⁾

これらのことから道徳科の教科書で取り上げられてい

る情報モラルに関する教材，指導内容，情報技術に関わる記述は，重要であると考え，分析するものである。

道徳科検定教科書の情報モラルに関する研究については，以下がある。相澤ら（2019）は，小学校高学年道徳科検定教科書における情報モラル教材の特徴分析を行っている。情報モラル教材が少なく教材開発の必要性，他教科・領域で有機的に結び付ける指導方法の工夫が必要だとしている。大西ら（2022）は，道徳科検定教科書の情報モラル教材に関する予備的考察として，小学校から中学校までの道徳科検定教科書の分析を行っている。「善悪の判断，自律，自由と責任」に該当する教材が多く，「C主として集団や社会との関わり関すること」の割合を増やし，多様な価値に触れることができる教材開発が求められるとしている。いずれも，推奨教材^{注4)}が中心で，適宜教材・コラムの内容，情報技術に関わる記述の検討は行われていない。また，年間指導計画への主題の位置付けは，教科書利用開始により教科書教材のみで行うことに留意して考察する必要がある。

そこで本稿は，相澤ら（2019）や大西ら（2022）の研究手法に学び，情報モラルに関する教材抽出後，教材内容を確認した上で，「指導内容」と「情報技術の仕組み」の観点で再考する。

2. 目的

情報モラルに関わる教材を出版社別に抽出し，道徳科の指導内容22項目と情報技術の仕組み^{注5)}，「インターネットの特性」，「心理的・身体的特性」，「機器やサービスの特性」の観点で集計し，特徴から実践上の留意点を明らかにすることを目的とする。

3. 方法

(1) 対象

小学校学習指導要領（平成29年告示）に基づいて著作，編集された小学校道徳科検定教科書8社（2020年版：東京書籍，学研みらい，光村図書，日本文教出版，学校図書，廣済堂あかつき，光文書院，教育出版），1年～6年の教科書を対象とする。

(2) 方法

① 対象教材

対象教材は，著作・編集者によって教科書目次や巻末一覧表，年間指導計画例に「情報モラル」と明示されたものとする。補充資料，コラム，その他を含み頁数に関係なく1教材につき1件とする。また，粗筋・内容を確認し一覧表に示す。

② 指導内容

指導内容は，著作・編集者によって教科書巻末一覧表や年間指導計画例に明示されたものに準じる。よって，推奨教材と適宜教材が対象となり，指導内容が明記されていないコラム等は対象から外す。

③ 情報技術の仕組み

出版社により，「情報モラル」と明示された推奨教材と適宜教材，コラムその他を対象とする。その上で「インターネットの特性」，「心理的・身体的特性」，「機器やサービスの特性」の項目と関連を筆者が判断し，関連する「○」，とても関連する「◎」で示す。集計する場合は，「○」と「◎」をそれぞれ1件でカウントする。

4. 結果

出版社毎の「対象教材」，「指導内容」^{注6)}，「情報技術の仕組み」を示す。また，全体的な傾向を見るために指導内容の系統（低・中・高学年），情報技術の系統（第1学年～第6学年）を示す。

(1) 各出版社の結果

① 東京書籍

1) 対象教材（表1-1参照）

教材数は6であった。年間指導計画例に位置付けられた推奨教材は無く，全学年1つずつ教科書最終頁に適宜教材として「情報モラル，家の人といっしょに考えよう」で取り上げていた。情報モラルに関する内容としては，第1学年～第3学年までは間接的に，第4学年からは直接的な内容であった。

表1-1 東京書籍の対象教材と粗筋

学年	教材名	粗筋・内容
1年	いたずらがき	掲示板に落書きする話
2年	たんじょうびカード	手紙が間違っって伝わった話
3年	ひみつの手紙	友だちに同調して手紙に「きらい」と書き，仲良しの相手に伝わる話
4年	やめられない？とまらない？	スマホやゲーム機で自制できなくなる話
5年	その遊び方，だいじょうぶ？	オンラインゲームで写真や個人情報を使用し考える話
6年	あなたはどうか考える？	スマホ利用に関する保護者の対立意見で考えさせる話

2) 指導内容（表1-2参照）

「1. 善悪の判断，自律，自由と責任」2，「2. 正直，誠実」1，「3. 節度・節制」2，「9. 礼儀」1であった。「A 主として自分自身に関すること」が多かった。

表1-2 東京書籍の対象教材と指導内容

指導内容 ／ 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度、節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1年	1																	
2年									1									
3年	1																	
4年		1																
5年	1																	
6年			1															
合計	2	1	2						1									

3) 情報技術の仕組み (表1-3参照)

第4学年以上の適宜教材が該当し、各項目とも2ずつであった。スマホやゲームへの依存、個人情報の扱い、スマホ利用に関わる全体的な課題を考える話であった。

表1-3 東京書籍の対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	いたずらがき			
2年	たんじょうびカード			
3年	ひみつの手紙			
4年	やめられない?とまらない?		◎	◎
5年	その遊び方、だいじょうぶ?	◎		
6年	あなたはこう考える?	◎	◎	◎

② 学研みらい

1) 対象教材 (表2-1参照)

教材数は13であった。年間指導計画例に位置付けられた推奨教材は、第6学年が2、他学年は1ずつであった。また、第6学年「のりづけられた詩」以外は、推奨教材掲載頁と一緒に「広げよう」や「深めよう」のコラム1頁を連続して掲載していた。情報モラルに関する内容としては、第1・第2学年は間接的に、第3学年からは直接的に関わる内容であった。

表2-1 学研みらいの対象教材と粗筋

学年	教材名	粗筋・内容
1年	さるきちのいたずら ※1頁：本当にいいのかな	おしらせばんに字を書き加えるいたずら。 ※真似たり書いたり大切なことを考えるコラム
2年	みんなのニュースがかり ※1頁：みんながよろこぶニュースに	みんなの苦情から改めて取材後発行。 ※本教材の学習の進め方について
3年	家のパソコンで ※1頁：インターネットを正しく使おう	約束を破ってゲームに夢中になる話。 ※インターネットを利用するときの約束を考えるコラム
4年	カマキリ ※1頁：大切な個人じょうほうを守ろう	ネットで調べて新聞を作る。途中サイトに名前を書き込み慌てる話。 ※個人情報の注意のコラム
5年	アップするの? ※1頁：よりよい情報の発信とは	写真をアップすることでの様々な影響を考える話。 ※本教材の学習の進め方について
6年	会話のゆくえ ※1頁：言葉でつながるインターネットの世界	チャットのやり取りで友達を非難し、もめる話。 ※言葉のすれ違いを考えるコラム
	のりづけされた詩	うつした詩を先生に伝え、はにかえる話

※は、教材に連続して掲載されていたコラムその他。

2) 指導内容 (表2-2参照)

「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」4、「2. 正直、誠実」1、「12. 規則の尊重」2で、「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」が重点化されていた。

表2-2 学研みらいの対象教材と指導内容

指導内容 ／ 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度、節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1年												1						
2年	1																	
3年												1						
4年	1																	
5年	1																	
6年	1																	
		1																
合計	4	1										2						

3) 情報技術の仕組み (表2-3参照)

第3学年以上の教材が該当し、各項目とも2～3であった。ゲーム依存、写真のアップ、個人情報の書き込み、チャットの問題の話であった。

表2-3 学研みらいの対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	さるきちのいたずら ※1頁：本当にいいのかな			
2年	みんなのニュースがかり ※1頁：みんながよるこぶニュースに			
3年	家のパソコンで ※1頁：インターネットを正しく使おう	○	◎	◎
4年	カマキリ ※1頁：大切な個人じょうほうを守ろう			◎
5年	アップするの？ ※1頁：よりよい情報の発信とは	◎		
6年	会話のゆくえ ※1頁：言葉でつながるインターネットの世界	◎	◎	◎
	のりづけされた詩			

③ 光村図書

1) 対象教材 (表3-1参照)

教材数は12であった。年間指導計画例に位置付けられた推奨教材は、各学年1ずつであった。また、教材掲載頁に連続してコラム2頁程度をセットとして掲載していた。情報モラルに関する内容としては、第1・第2学年は間接的に、第3学年からは直接的に関わる内容であった。

表3-1 光村図書の対象教材と粗筋

学年	教材名	粗筋・内容
1年	みんながつかうばしょだから ※1頁：きまりをまもらないと	休み時間のボールの扱い方の話 ※きまりをまもらないと
2年	角がついたかいじゅう ※2頁：友だちが作ったものは	図工で作った作品に友達が角を付けた話 ※真似るときの注意点
3年	やめられない ※2頁：インターネットにむちゅう	ネットゲームに夢中になる話。 ※夢中にならないために
4年	つまらなかった ※2頁：インターネット上のやりとり	友だちとの気持ちのすれ違いの話 ※チャットのやりとりの注意点
5年	あいさつって ※2頁：インターネット上のマナー	あいさつを考える3つの事例の話 ※ネット上のマナー、非対面性、匿名性、拡散性
6年	気に入らなかった写真 ※2頁：インターネット上の権利	投稿した写真の削除要請の話 ※ネット上の権利、著作権、肖像権、プライバシー権

※は、教材に連続して掲載されていたコラム

2) 指導内容 (表3-2参照)

「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」2, 「3. 節度・節制」1, 「9. 礼儀」1, 「11. 相互理解、寛容」1, 「12. 規則の尊重」1であった。

表3-2 光村図書の対象教材と指導内容

	A 自分自身					B 人					C 集団や社会							
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
指導内容 ／ 学年	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度、節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1年												1						
2年	1																	
3年			1															
4年											1							
5年									1									
6年	1																	
合計	2		1						1		1	1						

3) 情報技術の仕組み (表3-3参照)

ゲーム依存、すれ違い、マナー、許可なく写真のアップの話であった。

表3-3 光村図書の対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	みんながつかうばしょだから ※1頁：きまりをまもらないと			
2年	角がついたかいじゅう ※2頁：友だちが作ったものは			
3年	やめられない ※2頁：インターネットにむちゅう		◎	◎
4年	つまらなかった ※2頁：インターネット上のやりとり		◎	
5年	あいさつって ※2頁：インターネット上のマナー	◎	◎	
6年	気に入らなかった写真 ※2頁：インターネット上の権利	◎		

※は、教材に連続して掲載されていたコラム

④ 日本文教出版

1) 対象教材 (表4-1 参照)

教材数は15であった。全学年で取り上げられ、第2・第5・第6学年では複数の教材が位置付けられていた。また、「心のベンチ」として、第2・第3・第5・第6学年の教材に連続してコラム掲載し、セットで位置付けていた。情報モラルに関する内容としては、第1・第2学年は間接的に、第3学年からは直接的に関わる内容であった。

表4-1 日本文教出版の対象教材と粗筋

学年	教材名	粗筋・内容
1年	ひつじかいのこども	おおかみがくると嘘を繰り返す、本当にくる話
2年	おにいちゃんの電話	相手の違いによる電話での話し方の違いを学ぶ話
	おばあちゃんお元気ですか ※2頁:「ありがとう」をつたえよう	お母さんが写真を撮りおばあちゃんへメールで送る話 ※色々な伝え方の例
3年	ちゃんと使えたのに ※2頁:形はかわっても・・・	親との約束を破ってゲーム攻略を調べ、ゲーム広告が増える話 ※伝え方の変化とメールでの注意点
4年	交かんメール	他校とメールや動画で交流する話
5年	のりづけされた詩	うつした詩を先生に伝え、はにかえる話
	知らない間のできごと 2頁:メールの使い方	メールで間違いの情報が流れ、広がる話 ※メール使用で注意することを考える
	すれちがい	約束をするがすれ違いが起る話
6年	ほんとうのことだけど・・・	かべ新聞づくりで記事の内容に疑問を持つ話
	カスミと携帯電話 ※2頁:情報モラルの達人チェックシート	親の携帯で夢中になるが、友達の体調不良で見直す話 ※情報モラルの理解度チェックシート
	自分を守る力って?	写真、電話番号、お酒等身を守る対処を考える

※は、教材に連続して掲載されていたコラム

2) 指導内容 (表4-2 参照)

「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」1, 「2. 正直、誠実」2, 「3. 節度・節制」2, 「9. 礼儀」1, 「10. 友情、信頼」1, 「11. 相互理解、寛容」1, 「12. 規則の尊重」1, 「15. 家族愛、家庭生活の充実」1, 「16. よりよい学校生活、集団生活の充実」1と、幅広かった。

表4-2 日本文教出版の対象教材と指導内容

指導内容 ／ 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度、節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1 年	1																	
2 年									1							1		
3 年												1						
4 年																1		
5 年	1									1								
											1							
6 年	1		1															
			1															
合計	1	2	2						1	1	1	1			1	1		

3) 情報技術の仕組み (表4-3 参照)

ゲーム攻略、メールのすれ違い、携帯依存、情報モラルチェックシート、写真や個人情報の話であった。

表4-3 日本文教出版の対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	ひつじかいのこども			
2年	おにいちゃんの電話			
	おばあちゃんお元気ですか ※2頁:「ありがとう」をつたえよう		○	
3年	ちゃんと使えたのに ※2頁:形はかわっても・・・			◎
4年	交かんメール	○		
5年	のりづけされた詩			
	知らない間のできごと ※2頁:メールの使い方		◎	
	すれちがい		○	
6年	ほんとうのことだけど・・・			
	カスミと携帯電話 ※2頁:情報モラルの達人チェックシート	○	◎	○
	自分を守る力って?	◎		◎

※は、教材に連続して掲載されていたコラム

⑤ 学校図書

1) 対象教材 (表5-1 参照)

教材数は9であった。各学年で取り上げられ、第4学年以上は2教材ずつ位置付けられていた。コラムは無い。情報モラルに関する内容としては、第1学年は間接的に、第2学年からは直接的に関わる内容であった。

表5-1 学校図書の対象教材と粗筋

学年	教材名	粗筋・内容
1年	あなたなら、どうする？	リレーでこけたきつねくんへの言葉掛けを考える
2年	ゲームをしていたつもりなのに	親に借りたスマホでゲームし、課金した話
3年	言葉のまほう	文句を言い合う場面と謝罪する場面を考える
4年	だいたいぶかな	動画をアップし、映っている背景から書き込み等がある話
	ちょっと待って	チャットの返信が遅れ、すれ違い
5年	すれちがい	約束をするが互いにすれ違いが起る話
	たんていのつもりが	怪しいと思う人の写真を撮り、怒られた話
6年	さくらちゃんはだれのもの	友だちが書いたキャラクターを勝手に投稿
	羊飼いの指輪	見えなくなる指輪を付けて城で何をするか考える話

2) 指導内容 (表5-2 参照)

指導内容は、「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」5, 「3. 節度・節制」1, 「9. 礼儀」1, 「11. 相互理解、寛容」2であった。「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」が重点化されていた。

表5-2 学校図書の対象教材と指導内容

	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
指導内容 ／ 学年	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度、節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1 年	1																	
2 年	1																	
3 年									1									
4 年	1											1						
5 年			1									1						
6 年	1																	
	1																	
合計	5	1							1		2							

3) 情報技術の仕組み (表5-3 参照)

ゲームの課金、動画アップで個人情報が見れる、作品写真のアップ著作権問題の話であった。他社と違い、第2学年から該当項目があった。

表5-3 学校図書の対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	あなたなら、どうする？			
2年	ゲームをしていたつもりなのに		◎	◎
3年	言葉のまほう			
4年	だいたいぶかな	◎		
	ちょっと待って		◎	
5年	すれちがい		○	
	たんていのつもりが			
6年	さくらちゃんはだれのもの	◎		
	羊飼いの指輪			

⑥ 廣済堂あかつき

1) 対象教材 (表6-1 参照)

教材数は12であった。第1学年～第4学年までは、1教材ずつ、第5・第6学年は2教材ずつ位置付けられていた。第3学年以上には、教科書最後にコラムを各2頁設け、「考えようインターネットの世界」等、インターネットの利用や注意事項、マナー、著作権等の説明があった。情報モラルに関する内容としては、第1・第2学年は間接的に、第3学年からは直接的に関わる内容であった。

表6-1 廣済堂あかつきの対象教材と粗筋

学年	教材名	粗筋・内容
1年	けいじばんのらくがき	森のけいじばんにらくがきする話
2年	みんなのニュースがかり	みんなの苦情から改めて取材後発行
3年	きよしのなやみ	インターネットで見つけた詩を提出した友達から口止めされ悩む
	※2頁：考えようインターネットの世界	※インターネットの使い方（時間、サイト、情報判断）
4年	少しだけなら	検索で見つけたゲームサイト割引券に記入しようとする話
	※2頁：考えようインターネットの世界	※個人情報、知らない相手とのやり取り
5年	誰も知らないニュース	タレントの噂を掲示板に書き込み、結果間違いで反省する話
	ちゃんとやれよ健太	言葉足らずのメールで友達関係がすれ違う
	※2頁：インターネットの世界のルールやマナー	※インターネット上のルールやマナーについて
6年	達也の転校	タブレットでメール、動画、ゲームをし、生活リズムが乱れる話
	自由だからこそ	将棋の谷川名人、インターネット上の自由と責任について考える
	※2頁：著作権とは何だろう	※著作権と守らないといけないわけ

※は、教科書最後に掲載されているコラム。

2) 指導内容 (表6-2参照)

「1. 善悪の判断, 自律, 自由と責任」4, 「3. 節度・節制」2, 「7. 親切, 思いやり」1, 「14. 勤労, 公共の精神」1で, 「1. 善悪の判断, 自律, 自由と責任」を重点化していた。

表6-2 廣済堂あかつきの対象教材と指導内容

指導内容 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
	善悪の判断, 自律, 自由と責任	正直, 誠実	節度, 節制	個性の伸長	希望と勇気, 努力と強い意志	真理の探究	親切, 思いやり	感謝	礼儀	友情, 信頼	相互理解, 寛容	規則の尊重	公正, 公平, 社会正義	勤労, 公共の精神	家族愛, 家庭生活の充実	よりよい学校生活, 集団生活の充実	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	国際理解, 国際親善
1年	1																	
2年														1				
3年	1																	
4年			1															
5年	1						1											
6年			1															
合計	4		2				1							1				

3) 情報技術の仕組み (表6-3参照)

著作権の問題, ネットへの書き込み, ネット依存, 言葉のすれ違いの話であった。「インターネットの特性」や「心理的・身体的特性」の部分が多いが, コラムが関係していた。

表6-3 廣済堂あかつきの対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	けいじばんのらくがき			
2年	みんなのニュースがかり			
3年	きよしのなやみ ※2頁: 考えようインターネットの世界	◎	◎	
4年	少しだけなら ※2頁: 考えようインターネットの世界		◎	◎
5年	誰も知らないニュース ちゃんとやれよ健太 ※2頁: インターネットの世界のルールやマナー	◎	◎	
6年	達也の転校 自由だからこそ ※2頁: 著作権とは何だろう	◎	◎	◎

※は, 教科書最後に掲載されているコラム。

⑦ 光文書院

1) 対象教材 (表7-1参照)

教材数は14であった。全学年で1教材ずつ推奨教材が位置付けられていた。第1・第2・第5・第6学年では, 補助資料として情報モラル教材が掲載されていた。第3～第6学年では, 推奨教材に連続してコラム等が掲載セットされているものもあった。情報モラルに関する内容としては, 第1学年から情報モラルに直接的に関わる内容であった。

表7-1 光文書院の対象教材と粗筋・内容

学年	教材名	粗筋・内容
1年	ルールがないとどうなるの? スマホやゲームきをつかうとき	スマホ等, イラストでルールを考える。
	▽2頁: スマートフォン(スマホ)ってどうやってつかうの?	スマホでできること, 使い方のクイズ
2年	おかあさんとのやくそく	メールを送る前に約束を思い出す話
	▽2頁: ネットマナーを身につけよう	言葉遣い, 個人情報, クイズで確認
3年	うわさ話・つらい気持ち ※2頁: インターネットのじょうほうはかならず正しいの?	流行から友達への欠席もインフルエンザと考えた話 ※インターネットで諺を調べ間違え話
4年	ゲームのやくそく ※2頁: インターネットの落としあな	ゲームの時間に遅れたりして友達関係が崩れかける話 ※ネットショッピングの話
5年	約束 ※1頁: スマホと上手に付き合うために	約束の時間場所に来ない。書き込みをし, 非難する話 ※スマホのプラス面とマイナス面
	▽2頁: だれの研究	自由研究「城」をネットでまとめ著作権を考える話
6年	本当にだいじょうぶ? ※1頁: 携帯やスマートフォンの使用時間	スマホを買ってもらい, スマホ依存を振り返る話 ※使用時間の変化グラフ
	▽2頁: グループ外し	SNSのグループでの仲間外し

▽推奨教材でも適宜教材でもない, 補助資料

※推奨教材とセットされたコラムなど

2) 指導内容 (表7-2参照)

「1. 善悪の判断, 自律, 自由と責任」2, 「3. 節度・節制」1, 「10. 信頼, 友情」1, 「11. 相互理解, 寛容」1, 「12. 規則の尊重」1であった。なお, 年間指導計画には位置付けられていない補助資料やコラム等は含まれていないが, 適宜教材として使用することは可能である。

3) 情報技術の仕組み (表7-3参照)

メールやゲームの約束, スマホ依存, ネットショッピングの話であった。「インターネットの特性」や「心理的・身体的特性」の部分が多いが, 補助資料やコラムが関係している。

表7-2 光文書院の対象教材と指導内容

指導内容 ／ 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度・節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1年												1						
2年	1																	
3年	1																	
4年										1								
5年											1							
6年			1															
合計	2	1								1	1	1						

表7-3 光文書院の対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	ルールがないとどうなるの？—スマホやゲームきをつかうとき— ▽2頁：スマートフォン（スマホ）ってどうやってつかうの？		◎	
2年	おかあさんとのやくそく ▽2頁：ネットマナーをみにつけよう	○	◎	
3年	うわさ話・つらい気持ち ※2頁：インターネットのじょうほうはかならず正しいの？	◎		
4年	ゲームのやくそく ※2頁：インターネットの落としあな	◎	◎	◎
5年	約束 ※1頁：スマホと上手に付き合うために ▽2頁：だれの研究	◎	◎	
6年	本当にだいじょうぶ？ ※1頁：携帯やスマートフォンの使用時間 ▽2頁：グループ外し		◎	

▽推奨教材でも適宜教材でもない、補助資料

※推奨教材とセットされたコラムなど

かった。情報モラルに関する内容としては、第1・第2学年は間接的に、第3学年からは直接的に関わる内容であった。

表8-1 教育出版の対象教材と粗筋・内容

学年	教材名	粗筋・内容
1年	くまさんのおちゃかい	掲示板にさるが勝手に書き加える話
2年	教えていいのかな	電話番号を尋ねる電話に躊躇する話
3年	おそろしいゲームいぞん	ゲーム依存した話
	新聞係	新聞のネタを係で話し合い発行する話
4年	守りたい自分のじょうほう	ネットに書き込みし、電話セールの頻繁にくる話
	かわいくない	メールでのすれ違いで仲たがいになる話
5年	参考にするだけなら	ネットから見つけた読書感想文をコンクールに出すことになる話
	知らない間のできごと	メールで間違いの情報が流れ、広がる話
	だれかをきずつける機械ではない	携帯の使用について考える話
6年	食事の中のメール	食事中に何度も返信し怒られ、間違いに気づく話
	情報について考えよう	友だちの写真をアップし、友達間での問題になる話

2) 指導内容（表8-2参照）

「2. 正直、誠実」2, 「3. 節度・節制」4, 「9. 礼儀」1, 「10. 友情、信頼」1, 「12. 規則の尊重」2, 「13. 公正、公平、社会正義」1であった。「3. 節度・節制」が重点化され、他社で多く取り上げられている「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」はなかった。

3) 情報技術の仕組み（表8-3参照）

ゲーム依存、個人情報、メール依存・すれ違い、写真アップの話であった。第3学年から「心理的・身体的特性」の部分が多くなっていた。

⑧ 教育出版

1) 対象教材（表8-1参照）

教材数は11であった。全学年で取り上げられ、第3学年以上は2～3教材位置付けられていた。コラム等は無

表8-2 教育出版の対象教材と指導内容

指導内容 ／ 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会						
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)
	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度・節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善
1年	1																	
2年		1																
3年		1										1						
4年		1							1									
5年	1									1								
6年		1										1						
合計	2	4							1	1		2	1					

表8-3 教育出版の対象教材と情報技術の仕組み

学年	教材名	情報技術の仕組み		
		インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性
1年	くまさんのおちゃかい	○		
2年	教えていいのかな			○
3年	おそろしいゲームいぞん新聞係	○	◎	◎
4年	守りたい自分のじょうほうかわいくない		◎	◎
5年	参考にするだけなら	◎		
	知らない間のできごと		◎	
6年	だれかをきずつける機械ではない	◎	◎	
	食事中的メール		◎	
	情報について考えよう	◎	◎	

(2) 低学年・中学年・高学年の指導内容（表9参照）

「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」20、「2. 正直、誠実」6、「3. 節度・節制」13、「9. 礼儀」5、「11. 相互理解、寛容」5、「規則の尊重」7、等であった。「A主として自分自身に関すること」に片寄り、「1. 善悪の判断、自律、自由と責任」や「3. 節度・節制」が重点化されていた。また、学年が上がるごとに教材が増加していた。

表9 8社の情報モラル教材の学年別指導内容

指導内容 ／ 学年	A 自分自身						B 人					C 集団や社会							学年合計
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	
	善悪の判断、自律、自由と責任	正直、誠実	節度・節制	個性の伸長	希望と勇気、努力と強い意志	真理の探究	親切、思いやり	感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	規則の尊重	公正、公平、社会正義	勤労、公共の精神	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国際理解、国際親善	
1・2年	6	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	1	1	0	0	0	17
3・4年	5	0	5	0	0	0	0	0	2	1	2	3	0	0	0	1	0	0	19
5・6年	9	3	7	0	0	0	1	0	1	2	3	1	1	0	0	0	0	0	28
合計	20	6	13	0	0	0	1	0	5	3	5	7	1	1	1	1	0	0	64

(3) 情報技術の仕組みの結果（表10参照）

第1学年から第6学年にかけて「インターネットの特性」、「心理的・身体的特性」は増加しているが、「機器やサービスの特性」は僅かである。情報技術の仕組みについては、学年進行と共に取り上げる傾向にある。

表10 情報技術の仕組み学年別一覧

学年	情報技術の仕組み			学年別合計
	インターネットの特性	心理的・身体的特性	機器やサービスの特性	
1年	1	2	0	3
2年	2	4	2	8
3年	4	4	4	12
4年	3	6	5	14
5年	9	8	0	17
6年	10	8	5	23
合計	19	24	16	59

※出版社別、「○」と「◎」の学年別集計

5. 考察

(1) 対象教材

まず、教材数についてである。全出版社とも全学年に情報モラルに関する教材を位置付け、学習指導要領第3章第3の2の(6)、第3章第3の3の(1)に準じた編集となっている。しかし、全学年1教材ずつや学年が上がるに従って複数教材の設定、コラムや補充教材の掲載等、出版社によって大きな違いがある。よって、相澤ら(2019)や大西ら(2022)の指摘の通り、情報化への対応は現代的な課題であるために教材開発も必要であろう。しかし、採択教科書の特徴に応じた年間指導計画の立案、実践、修正を行いながら、日常の道徳教育の指導の充実の上に

情報モラルの指導が成り立つことを堅持しつつ、情報化への対応と関連させる、発展させる等、実践者の意図が期待されるであろう。

次に、教材内容についてである。低学年は、落書きに関する話や「みんなのニュースがかり」等、身近な題材で間接的に情報モラルに絡ませている。中学年から情報機器の操作で生じる問題の題材が多くなり直接的な扱いになっている。学年が上がり児童の実態に応じて、情報機器の利活用や課題を理解して道徳の学習に生かすことや、道徳科で学んだ内容を情報機器の操作に繋ぐことが考えられる。よって、道徳科の全体計画や別葉で他教科等との関連を明確に位置付けることが重要と考える。実際の指導の際には、一部の出版社に見られたようにコラムや補助教材は非常に有効であり、道徳科で活用する、関連して扱う、他教科等で道徳科の教科書内容を利用することが考えられる。特に道徳科だけで情報モラルに関する指導をするということが無いようにしなければならない。「情報モラル、家の人といっしょに考えよう」とあるように保護者や地域の方々との連携協力した実践も必要であろう。

(2) 指導内容

まず、指導内容の数についてである。「3. 節度・節制」,「1. 善悪の判断, 自律, 自由と責任」,「2. 正直, 誠実」,「12. 規則の尊重」の指導内容が多くなっている。これは、情報モラルに関する教材が、依存やマナー・ルール違反等、個の在り方・生き方に関するものが多いからだと考える。また、テキストコミュニケーションによるすれ違い、人間関係のマイナスの影響を考える教材も見られることから、「9. 礼儀」,「11. 相互理解, 寛容」,「10. 友情, 信頼」等、身近な人との人間関係が絡んでくる。更に所属する集団の存在で「C主として集団や社会とのかかわりに関すること」の指導内容にも広がっていくと考える。以上のことから、情報モラルに関する指導は、情報技術の特性からも「A主として自分自身に関すること」が根底であり、そのことが「B主として人との関わりに関すること」に問題として広がると考えられる。具体的には、学習指導要領や「教育の情報化の手引き」で挙げられていた節度、思慮、思いやり、礼儀、規則の尊重等は、情報技術の特性から重点指導内容項目と位置付けるべきである。

次に、指導内容の重点化についてである。情報に関する指導の重点指導内容項目が明らかになったが、学習指導要領総則第6の2で、善悪の判断、きまりを守る等が道徳教育の指導内容の重点として示されている。^{注7)} この配慮事項と情報に関する指導の重点指導内容項目とは重なりが見られる。よって、情報に関する重点指導内容を

を特別視することなく、道徳科の目標達成を目指す中で重点指導内容項目を深め、一般化することで情報モラルの育成もできると考える。道徳科の指導内容は、低学年19項目、中学年20項目、高学年22項目で年間35時間（第1学年34時間）が標準時数であるため、必然的に幾つかの指導内容を複数回扱うこととなる。

(3) 情報技術の仕組み

まず、現状についてである。スマホの普及率やインターネットの利用状況を見た時に「情報技術の仕組み」は積極的に指導すべき内容である。教科書は2020年版であり、コラム等で使用されているデータ等は更に古いものである。よって今回の傾向、学年進行と共に教材数を増やし、重視することが期待される。また、コラム等は、情報技術の特性理解に有効であるため、最新のデータで指導できるような対応が求められる。

次に、指導項目についてである。「インターネットの特性」,「心理的・身体的特性」については、個の在り方・生き方、家庭環境が影響するため、継続的に家庭や地域と連携しながら指導していかなければならない。「機器やサービスの特性」もコロナ禍での生活様式の変化、動画視聴やゲーム依存の増加が考えられ、扱うことも多くなるであろう。今回の結果にあるように中学年から徐々にという考えを捨て、社会状況や児童の実態を見て、低学年においても積極的に指導していく必要があるであろう。

最後に道徳科だけでは限界であるということである。道徳の時間はあくまでも道徳的価値の理解に対して自己を見つめる時間であり、情報技術の特性に特化することも、操作等をする時間ではない。よって道徳教育の要として役割を意識しつつ、教育活動全体で情報技術の特性を最新の状況やデータ、児童の実態に応じて指導をしていくことが重要であろう。なお、情報技術の特性を理解する上で、総務省HP「情報通信白書 for Kids」⁹⁾や文部科学省HP「情報モラル学習サイト」¹⁰⁾の活用も考えるべきであろう。

6. まとめ

情報モラルに関わる教材を出版社別に抽出し、教材数、指導内容、情報技術の仕組みで集計し、考察を行った結果、以下の知見を得ることができた。

教材数については、情報化への対応と関連させたり、発展させたりするためにコラムや補助教材を増やす必要がある。その上で道徳教育の全体計画や別葉、年間指導計画への明確な位置付け、全教育活動で行うことが重要である。

指導内容については、道徳科の重点指導内容と情報に関わる指導内容とは重なりが見られる。よって特別な取り上げではなく、日常の道徳科の指導の充実で道徳的実践力を育成していくことが重要である。

情報技術の仕組みについては、教材数を増やし、情報技術の進展に伴った最新のデータ、且つ児童の実態に応じ、教育活動全体で実践していく必要がある。

「教育の情報化に関する手引」に以下がある。情報モラルの指導では、「日常モラルを育てる」、「仕組みを理解させる」、「日常モラルと仕組みを組み合わせさせて考えさせる」。改めて道徳科、他各教科等それぞれの目標に応じ、教育活動全体で行っていくことの再確認となった。

おわりに

道徳科が教科化され、2018年度から教科書を活用した指導が開始された。その後、今回調査対象とした2020年度版の教科書が使用されている。しかし、コロナ禍で教育活動にも様々な変化が起きた。タブレットの配布、オンライン授業等である。このような急激な変化に検定教科書は追いついていない部分がある。教科書は4年間の使用なので、今回は2024年版となる。どのような教材で構成されるのか楽しみではあるが、道徳科の指導においては、特定の内容や話題に偏ることなく調和的な道徳性の育成に向けての実践を忘れないようにしたいものである。

注

- 1) 小学校学習指導要領（平成29年告示）第1章総則編、第2の2(1)には、「各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。」とある。
- 2) 小学校学習指導要領（平成29年告示）第3章特別の教科道徳、第3の2の(6)には、「児童の発達の段階や特性等を考慮し、第2に示す内容との関連を踏まえつつ、情報モラルに関する指導を充実すること。また、児童の発達の段階や特性等を考慮し、例えば、社会の持続可能な発展などの現代的な課題の取扱いにも留意し、身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲や態度を育てるよう努めること。なお、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのないようにすること。」とある。
- 3) 小学校学習指導要領（平成29年告示）第3章特別の教科道徳、第3の3の(1)には、「児童の発達の段階や特性、地域の

実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること。特に、生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材の開発や活用を行うこと。」とある。

- 4) 推奨教材は、教科書出版会社が年間指導計画例に明記している教材、または、年間指導計画例に適宜使用すると書かれた教材とする。その他は、適宜資料、コラム、その他とする。
- 5) 「教育の情報化に関する手引」には、情報技術の仕組みとして、「インターネットの特性」、「心理的・身体的特性」、「機器やサービスの特性」が挙げられている。これを参照している。以下具体的観点である。
 - ・インターネットの特性：インターネットには、「公開性」「記録性」「信憑性」「公共性」「流出性」。
 - ・心理的・身体的特性：夢中になってやめられなくなる。非対面で伝わりにくい部分がある。不安になる。感情的になりやすい。
 - ・機器やサービスの特性：夢中になりやめられなくなるサービスがある。いつでもどこでもつながることができる。サービスの提供側から様々な勧誘がある。無料であることをうたって利用を勧誘してくる。
- 6) 道徳の指導内容は、「A 主として自分自身に関すること」、「B 主として人との関わりに関すること」、「C 主として集団や社会とのかかわりに関すること」、「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」であるが、情報モラル教材の「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の指導内容は無かった。よって、結果を示す指導内容一覧表等では、「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を省いている。

- 7) 小学校学習指導要領（平成29年告示）第1章総則編、第6の2には、「各学校においては、児童の発達の段階や特性等を踏まえ、指導内容の重点化を図ること。その際、各学年を通じて、自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てることに留意すること。また、各学年段階においては、次の事項に留意すること。
 - (1) 第1学年及び第2学年においては、挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けること、善悪を判断し、してはならないことをしないこと、社会生活上のきまりを守ること。
 - (2) 第3学年及び第4学年においては、善悪を判断し、正しいと判断したことを行うこと、身近な人々と協力し助け合うこと、集団や社会のきまりを守ること。
 - (3) 第5学年及び第6学年においては、相手の考え方や立場を理解して支え合うこと、法やきまりの意義を理解して進んで守ること、集団生活の充実に努めること、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること。」とある。

参考文献

- 1) 総務省 (2022). 情報通信白書令和 4 年版.
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/r04.html>. (2022-09-05)
- 2) 内閣府 (2022). 令和 3 年度青少年のインターネット利用環境実態調査.
https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai_list.html. (2022-09-05)
- 3) 総務省 (2022). 通信利用動向調査令和 3 年版.
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05a.html>. (2022-09-05)
- 4) 警察庁 (2021). 犯罪統計「令和 3 年犯罪情勢」.
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/crime/situation/r_3_hanzaijyousei.pdf. (2022-09-01)
- 5) 文部科学省 (2018). 『小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 特別の教科 道徳編』. 廣済堂あかつき株式会社.
- 6) 文部科学省 (2020). 教育の情報化に関する手引-追補版-(令和 2 年 6 月).
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html. (2022-09-05)
- 7) 相澤崇, 小河智佳子, 大輪知穂. 小学校高学年道徳科の検定教科書における情報モラル教材の特徴分析. 都留文科大学研究紀要90.137-150.2019.
- 8) 大西圭介, 寝占真翔. 道徳科検定教科書の情報モラル教材に関する予備的考察. 帝京科学大学紀要18.129-138.2022.
- 9) 総務省. 情報通信白書 for Kids.
<https://www.soumu.go.jp/hakusho-kids/>. (2022-09-10)
- 10) 文部科学省. 情報モラル学習サイト.
<https://www.mext.go.jp/moral/#/>. (2022-09-02)